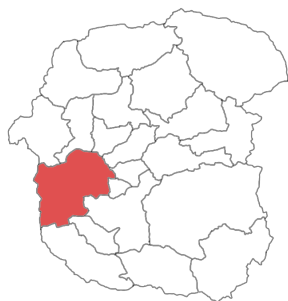




13 区 | 上飯樋 行政区

地理



村内最高地点にあたる花塚山が上飯樋と川俣町の境に位置している。この花塚山は、富士山が見える最も遠い地点として有名である。村の山としても親しまれてきた。事故後登山道は荒廃しているが、最近再び整備をする機運が生まれている。飯樋川流域に農業用水を供給する岩部ダムが飯樋川の上流部にある。

文化・生活

【事故前後を通して】

上飯樋では、大火地区と宮仲地区で「奥州相馬大火神楽団」と「奥州相馬宮仲神楽団」の2団体の神楽が活動している。それぞれの神楽に芸能保存会があり伝統芸能の保全に努めているが、高齢化が著しいのが現実である。かつては華やかな宝財踊りもあったが、こちらも後継者不足により十数年舞われていない状況にある。そのため、踊りの負担を減らした子どもの神楽を創設しようという「ひもろぎプロジェクト」が立ち上がり、事業化を目指している。新しい取り組みとして、13区の音楽祭をこの4年程開催している。

農業関係では、上飯樋を始めとした飯樋4区のかかなりの割合を耕作している集落営農団体である2つの営農組合が拠点をおいている。事故後、商品作物の栽培ができない時から農地管理を行い、当時栽培に補助金が



鈴木秀範 行政区長

村外の農業短大に2年間通った後、全村避難の期間を除いては飯舘に住み農業を続けてきた。現在では村で唯一のミニトマトの水耕栽培に力を入れており、全国的に見ても数少ない先進的な技術を取り入れている。

出ていた景観作物の栽培を共同で開始した。2019年に法人化し、農地の集約を担う中間管理機構を通じて100haを超える農地を借り、大型機械を用いた耕作に乗り出した。用排水や河川の整備、草刈りを自主的に行う環境保全隊を結成し、地区のインフラ整備に注力しているという。

村の総合計画を立案するのに伴い、10名以上からなる有志委員会が地域の魅力づくりに取り組んでいる。



▲ 上飯樋の集会所



▲ 岩部ダムの堤体



▲ 岩部集落の入植の碑

▼ 上飯樋にもまだ除染関係の土が残る

▼ 上飯樋の大火方面を望む

